

## 平成 29 年度 経営発達支援事業評価委員会の開催報告

石岡商工会議所

当所では平成 29 年度に実施した経営発達支援事業につきまして、外部有識者を交えて経営発達支援事業評価委員会を下記の通り開催致しましたので報告致します。

### 記

#### (第 1 回)

1. 日 時 平成 29 年 10 月 6 日(金) 午後 2 時～午後 3 時 25 分
2. 場 所 石岡商工会議所 3 階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士 3 名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上 2 名
6. 内 容

事務局より「平成 29 年度 石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧」について、配布した関連資料を参照しながら全ての事業について説明を行った。以上の説明をもとに、委員から質問及び評価を受けた。委員からの質問、評価は次の通り。

#### 【質問事項】

- ・石岡サマーフェスタはなぜ商工会議所青年部の運営に戻ったのか  
(回答) ☞ イベントのスタートは青年部が企画し始まった。そこに県の補助金が付き盛大に開催された。その後会場となっている御幸通りにも補助金が付き主催が御幸通りに移った。ただ補助金が無くなり運営が厳しくなったことから青年部に戻った。
- ・需要動向調査の目的は何か？また調査結果の報告・活用方法は？  
(回答) ☞ 地元の消費者がどこで買物しているかなど、消費行動についてなんとなくわかっていたが、それを確かめるために実施した。調査結果は経営計画策定時の資料にするほか、小規模事業者の経営に役立ててもらうため会報で概要を周知したほか、WEBサイトで詳細について掲載し周知している。調査協力してもらった小学校へは報告したが、保護者まで結果が伝わっているかどうかは不明である。
- ・経営向上計画への対応状況は？  
(回答) ☞ 法律・制度が出来た当初は設備投資に対する固定資産税の優遇措置をPRしたが、ほとんど反応は無かった。業務の改善のみで申請する方法をPRしたら数社が関心を持った。ただ商工会議所への相談は少ないのが現状である。
- ・会員数、組織率は？  
(回答) ☞ 会員は9月末で1,499、組織率は76%程度である。
- ・商工会議所の機能を多くの小規模事業者は理解していないのではないかと。会報は読みやすいが、各種施策や支援情報を載せることも必要ではないかと。  
(回答) ☞ 会員向けの会報には多くのチラシが折りこまれている。来月から委員の皆様へも会員と同様にチラシも同封するので、2月の委員会ではそれを含めて評価いただきたい。
- ・需要動向調査の内容は  
(回答) ☞ 昨年度は食料品と普段着の買物について調査した。今年度は外食について調査する方向で検討している。

- ・需要動向調査の対象をなぜ小学1年生の保護者にしたのか？  
(回答) ☞ 400サンプル必要であったため、小学校へ協力を求めるという計画を提出した。小学校1年生ならば真面目に保護者へ調査票が渡り回収率が上がると考えた。
- ・目標件数に達していない事項について内部で達成に向けた取り組みをしているのか。  
(回答) ☞ 日々検討している。セミナー受講者、支援件数など相談所で検討しながら進めている。
- ・5年計画の最終年度で目標が達成されるイメージなのか  
(回答) ☞ 毎年の目標を達成し、それを積み重ねていくイメージ。小規模事業者の持続的な発展が達成できれば、それが目標達成である。

## 【評価】

- ・項目は良くまとめられている。最終ゴールに向かって進めてほしい。
- ・商工会議所はあらゆる情報が集中する場所である。そうした機関であることをもっとPRし商工会議所を利用してもらうとよい。
- ・会報は読みやすい。タウン紙的で親しみを感じる。
- ・実績件数の1件は全ての件数が同じ内容ではないと思う。中身が濃い1件、ありきたりの1件があると思う。中身の検証が必要。
- ・事業所から頼られる商工会議所になる必要がある。いかに事業者から来てくれるかが重要。
- ・目標件数の達成が本当の目標ではないと思うので、次回の委員会では最終ゴールのイメージがわくように、支援の内容や成果について説明いただきたい。
- ・商工会は人事異動があり会員企業を熟知していない指導員も多いが、商工会議所は異動が無く地元企業を熟知しているのは強みである。
- ・経営発達支援計画のターゲット、テーマは良いと思う。引き続き実行してもらいたい。

## (第2回)

1. 日 時. 平成30年2月13日(火) 午後2時～午後3時20分
2. 場 所. 石岡商工会議所 3階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士3名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上2名
6. 内 容

事務局より、「平成29年度 石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧」について配布した関連資料を参照しながら全ての事業について説明を行った。なお、説明は第1回委員会から変わった部分を中心に説明。

次に、「平成29年度 石岡商工会議所経営発達支援事業における伴走型支援事例」、及びその事例で説明した4企業の中のひとつを紹介した当所会報2月号記事「県知事承認！経営革新企業紹介」をもとに、代表的な支援事例について説明。

次に、「平成29年度 石岡商工会議所が行った伴走型支援の流れ」をもとに、数字で見る今年度の実績について説明。その中で、持続化補助金、ものづくり補助金の申請件数については、2月下旬から公募開始予定であり今後、支援件数が増える見込みであることを説明。加えて経営革新計画認定申請は、もう1件申請予定である旨説明。

次に、「平成 29 年度 経営革新計画フォローアップ調査結果概要」をもとに、当所が支援し経営革新計画認定をうけた企業の計画実施状況と効果、及び経常利益の伸び率、付加価値額の伸び率から見た計画の実績について説明。またその中のひとつである事業所が、いばらき中小企業経営革新フォーラム 2017 において優秀賞を獲得した旨を、当所会報 12 月号記事をもとに説明。

以上の説明をもとに、委員から質問及び評価を受けた。各委員からの質問、評価は次の通り。

### 【質問事項】

- ・経営発達支援事業はすべての商工会議所が同じ内容でやっている訳ではなく、地域の特徴を出しながら行っていると思うが、石岡が力を入れているものは何になるのか。  
(回答) ☞ 計画書の冒頭にも書いてある通り石岡市は日本有数の日本酒の産地となっていることから、酒造業と関連する小売業、飲食業の再興を目標に掲げている。そうしたことから、連携する事業として「石岡の地酒で乾杯推進事業」を入れてある。こればかりを行うわけではないが、石岡の特徴的な事業となっている。
- ・窓口相談事業でこれから 2～3 月にかけて税務の相談が増えていくとの説明であったが、税務以外で多いのは何の相談なのか。  
(回答) ☞ 税務以外だとその時期に多いのは金融相談が多い。マル経融資については、当所の予算で 1 年間、金利の 0.5% 補助を行っている。市へもマル経利子補給を要望しているがまだ実現していない。
- ・経営革新と創業に力を入れていると感じたが、実際に創業した方は何人いるのか。  
(回答) ☞ 創業支援の 21 人は創業して間もない方が 11 人で、残りの 10 人は創業塾受講者でまだ創業していない方となる。今年度については創業塾受講者の中で創業した方はまだいない。今年度、石岡市が創業支援計画の国の認定を受けたので、来年度は行政と一体となった支援が出来ると考えている。
- ・持続化補助金、ものづくり補助金など各種施策の周知はどうしているのか。こうした補助金は公募が始まってから準備しては間に合わなくなってしまう可能性もある。  
(回答) ☞ まずは全会員に周知する必要があるので、当所会報記事と折込チラシで周知している。それを見て申し込みに来る方もいるが、事前の相談の中で、これは持続化補助金やものづくり補助金に合致するなどといった事業者に対しては公募前に勧めている。
- ・経営革新計画フォローアップ調査で、計画が実行できなかつたり、計画が未達だったりする事業者もあるが、こうした事業者へのフォローはどうしているのか。  
(回答) ☞ 計画実行に向けたフォローは行っているが、例えば今回示した事業者を例にとると、金融機関から借入をして設備投資する計画で、そもそも借入が出来ないと計画そのものが進められないことになってしまい、どうしてもこうしたケースは出てしまう。今後は、当初計画が駄目だった場合、次の一手を考えるためのフォローも行っていきたい。
- ・持続化補助金、ものづくり補助金などの採択率の目標は掲げているか。  
(回答) ☞ 採択率の目標は立てていない。すべての案件について採択されるように進めているので目標は立てていない。

### 【評価】

- ・経営発達支援計画を改めて紐解いてみると、小規模事業者の経営を底上げするのが目的で、その手段として現状の調査、分析、計画立案、実行支援をしていくことである。

その目標に対し、どう取り組んでいるのかが疑問であったが、良く取り組んでいると思う。引き続きこの取り組みを実行してもらいたい。ただ結果的に「すごく効果があった」のか、「まずまずの効果だった」のか目的達成の度合いがわかりにくい感じがした。次に地域活性化については新装なった石岡駅に人が集まる仕掛けが必要ではないか。高校生やゴルフ客など人を集めることが重要。そこで土産品など買い物ができることが重要である。観光案内所に多少土産品はあるようだが、場所が目立たないので東西入口にのぼり旗を立てるなどの工夫が必要である。石岡はゴルフ銀座で多くのゴルフ客が毎週来ており、ただ帰らせるのはもったいない。

(回答) ☞石岡駅の観光案内所で地酒や和洋菓子など石岡の名産品が買えるように当所の観光振興委員会がとりまとめた要望書を石岡市へ提出予定。石岡駅東側に市が購入し何も活用されていない広大な土地がある。その有効活用を市へ要望している。また、ステーションパーク1階部分を改装して4店舗のテナントを市が整備することになっている。

- ・このまま続けて行ってほしい。ただし、目標と結果の数字だけでなく事業全体の分析も行ったほうが良いと思う。分析した結果、今後はこうした方向でやっていこうといった道筋が出来ると思う。
- ・進化させてこのまま続けて企業のサポートを行ってほしい。ただし持続化補助金、ものづくり補助金など認定率も事業者に知らせたほうが励みになるのではないかと。事業者によっては申請が面倒だという方もいるが、仮に認定されなくても計画書を作ることが自分の事業を見つめ直すきっかけにもなるので事業者を導いてほしい。

以上